# THROTTLE CONTROLLER

**Performance & Technology**

# INSTALLATION MANUAL

## ― 安全上のご注意 ―

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。
表示項目の説明（シグナルワードとその意味！）

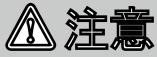
| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。 |
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。 |

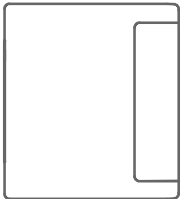
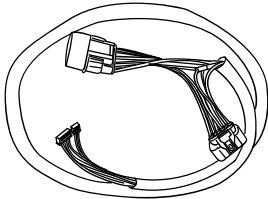
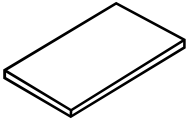
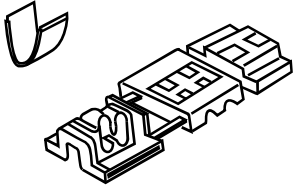
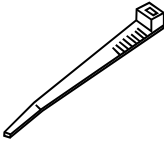
□必ずお読みになり、よくご理解ください。
- 本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開ける事で体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られますが実際の最大出力が向上するものではありません。また、体感的な部分には個人差がありますことをご了承ください。
- この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。 |

- 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
  換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- 本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けないでください。
  運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- 本製品は、車両電源がＤＣ１２Ｖ車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
  ＤＣ２４Ｖ又は１２Ｖ・２４Ｖ兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
  ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。
- 本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。
  そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。
  事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- 本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
  ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
  使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。

| | |
|---|---|
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。 |

- ＬＣＤ液晶表示画面について
  装着場所や見る角度によって文字が見えにくくなる事がありますが、ＬＣＤ液晶の特性によるもので異常ではございません。
  この場合は装着位置（角度）を変更してください。

**⚠注意**　この表示を無視して、誤った取り扱い･作業を行うと､人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

・本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車輌装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
・本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良を起こし、車輌を破損する恐れがあります。
・液晶表示本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。
６０℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊される事があります。
・本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジェーター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
・本製品は純正車両を前提に企画されております。
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が発生する可能性があります。

**⚠警告**　この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

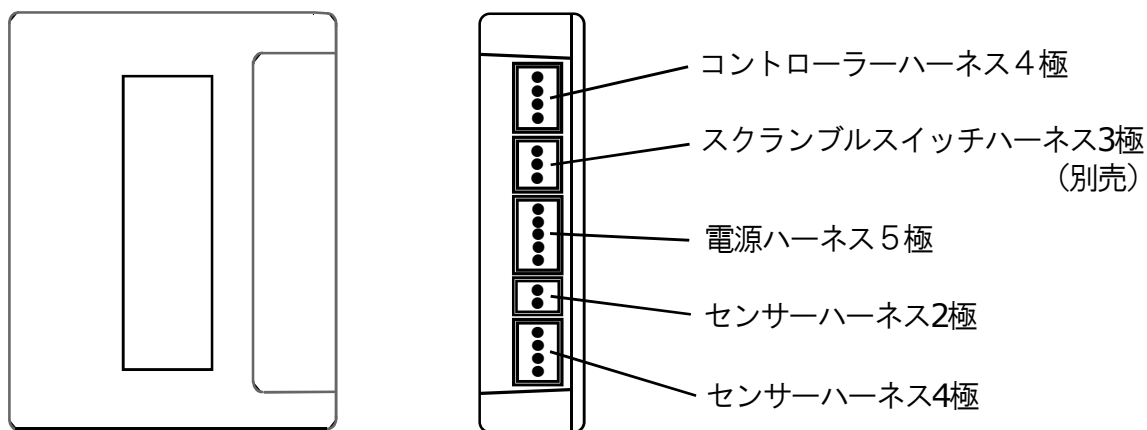
・運転者は走行中における本製品の操作はしないでください。
運転中の表示の注視やスイッチ操作は事故に繋がる可能性があるので大変危険です。
・コントローラーや本体の装着場所は運転の妨げにならない場所へ、しっかりと固定してください。
アクセルセンサー付近の配線処理などは注意を怠りますと、突然のエンジン不調やアクセル操作の邪魔になるなど大変危険です。
・本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので配線の接続方法ならびに使用方法を間違えると車両側の不調・破損・事故など致命的な問題が発生する恐れがあります。
接続取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようにお願いします。ご自身で取り付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
・走行中に車輌及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり大変危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
・本製品の装着により製品、及び車輌本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
そのままの状態で走行を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。
・本製品の分解や改造は一切行わないでください。
車両破損・事故につながるだけでなく生命の危機に陥る恐れもあり危険です。また、そのような場合でも弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

# パーツリスト　（製品装着前に必ずご確認ください）

| 品名 | 数量 | 品名 | 数量 | 品名 | 数量 | 品名 | 数量 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| コントローラー | 1 | 本体ユニット | 1 | センサー・電源ハーネス | 各1 | リバースキャンセルハーネス | 1 |
| 両面テープ | 2 | エレクトロタップ・スプライス | 各1 | タイラップ | 4 | 取扱説明書・保証書 | 各1 |

## ― 各部の名称と機能 ―

### コントローラー：

### 本体ユニット：

## ー取り付け手順と方法ー

### ■取り付け上のご注意

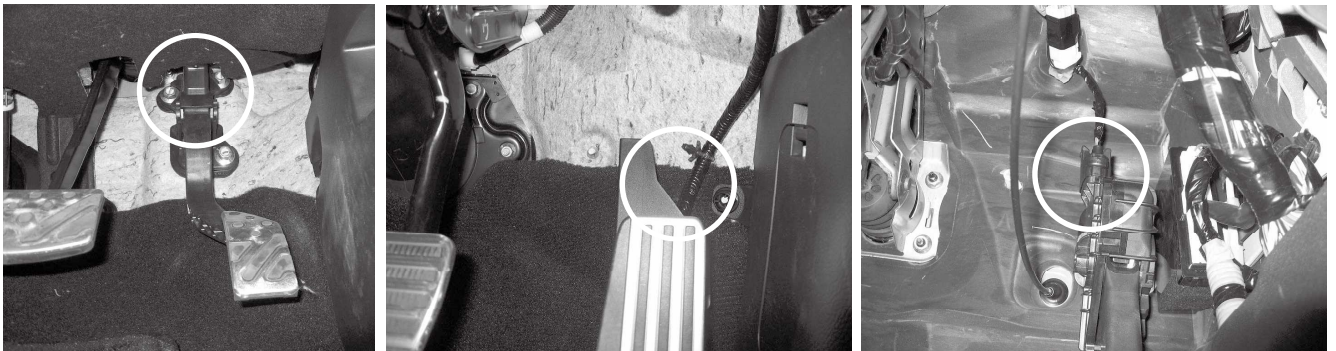
※本製品はＤＣ１２Ｖ車両専用です。ＤＣ２４Ｖ車や１２Ｖ仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。火災や車両破損の原因となり大変危険です。
※アクセルコネクターの取り外し作業はイグニッションキーをＯＦＦしてから２０分以上経過してから行ってください。
※従来品の専用センサーハーネスは仕様が異なる場合がありますので、必ず同梱されている物をご使用ください。

※電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には十分注意し慎重に作業をおこなってください。
※接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。
この場合専用機器しかエンジンチェックの点灯を消せないことがあります。十分注意して作業をおこなってください。
※取り付け作業の際は必ずキースイッチを抜いて２０分以上は作業を行わないでください。
またスマートエントリーシステムなどの場合はキーを認識しない場所に離して作業してください。
車両側がキーの存在を認識して自動的に電源が入り、そのまま作業をしてセンサーコネクターを抜くと車両故障とみなされエラー信号が入り、エンジンがフェールセーフモードに入ってしまう恐れがあります。
※車両によっては専用の故障診断機を使用しなければエラーコードが解除されない場合がありますので十分注意してください。

この表示を無視して、誤った取り扱い･作業を行うと､人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

・取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外した場合にアイドリング学習などが必要になる場合があります。
・本作業は精密電子部品である電子制御スロットルの制御にかかわる部分です。接続位置や接触、逆挿し、接触不良等には十分注意し慎重に行ってください。
・接触不良や間違った接続をした場合、正常にエンジンが吹け上がらない、エンジンチェックランプの点灯などの症状が発生します。この場合も前述同様専用の故障診断機を使用しなければ消灯させることができない場合がありますので十分注意し、よく理解した上で作業を行ってください。

（１）運転席足元アクセルポジションセンサーの位置を確認します。

アクセルポジションセンサーは通常アクセルペダルの根元付近にあります。（一部車種除く）
カバーの裏などで隠れていて直接目視できない場合がありますので注意して探してください。

上記の白丸部がセンサーです。同梱のハーネスに付いているコネクターの形状と見比べて形状が違う場合は装着できません。形状が異なっているにも関わらず無理に装着しないでください。

【注意】品番14773：TRC001S-BF2を装着される場合の注意点

品番14773に適合する車両は、エンジンルーム内にアクセルポジションセンサーがあり、左図のようにマスターバック付近に固定されています。室内からエンジンルームセンサーまではワイヤーで繋がっており、この部分にBF2センサハーネスを接続し、サービスホールを使用して室内へハーネスを引き込み、本体ユニットへ接続してください。

（２）アクセルセンサーのコネクターを外します。

初めてコネクターを脱着する場合非常に固く外れない場合があります。ドライヤーなどで適度に温め、やわらかくしてから外してください。工具などで無理に外そうとすると破損する恐れがありますのでお止めください。

（３）専用センサコネクターを取り付けます。
BA1タイプのコネクター以外は次のように行ってください。
センサー側、車両側、それぞれコネクターを装着してください。

※ゴム製のコネクターは表裏の違いに注意してください。（図１、図２参照）
赤いコーションステッカーの貼ってある面と車両側コネクターのロック部分（ツメ）を合わせて装着してください。
※ゴム製のコネクターにはロックがありません。必ず図３のように絶縁性のビニールテープ等でテーピングして固定してください。
※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。必ずコーションステッカーの面に注意して間違いの無いように作業を行ってください。

図１

図２

図３

BA1タイプのコネクターは次の①～④の内容に注意して下さい。
①車両側のコネクターの防水ゴムを必ず外してから装着してください。（図４、図５）
外さないまま装着した場合、接触不良もしくはエンジン警告灯が点灯します。
②BA1タイプのコネクターは特殊形状の為に表裏が判別しにくいです。
その為コネクターに貼ってある赤いコーションシールを目安にして確実に装着してください。
前述同様ロック部を合わせます。
③BA1タイプのコネクターは特殊形状の為にロック部分が完全に勘合しません。（図６）
④BA1コネクターを装着した場合の寸法はおおよそ47mm～48mmになります。（図７）
※装着後必ずビニールテープ等で固定してください。（図８）
※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。
必ずコーションステッカーの面に注意して間違いの無いように作業を行ってください。
※BP1コネクターは下側の穴にピンをさしてください。（図９）

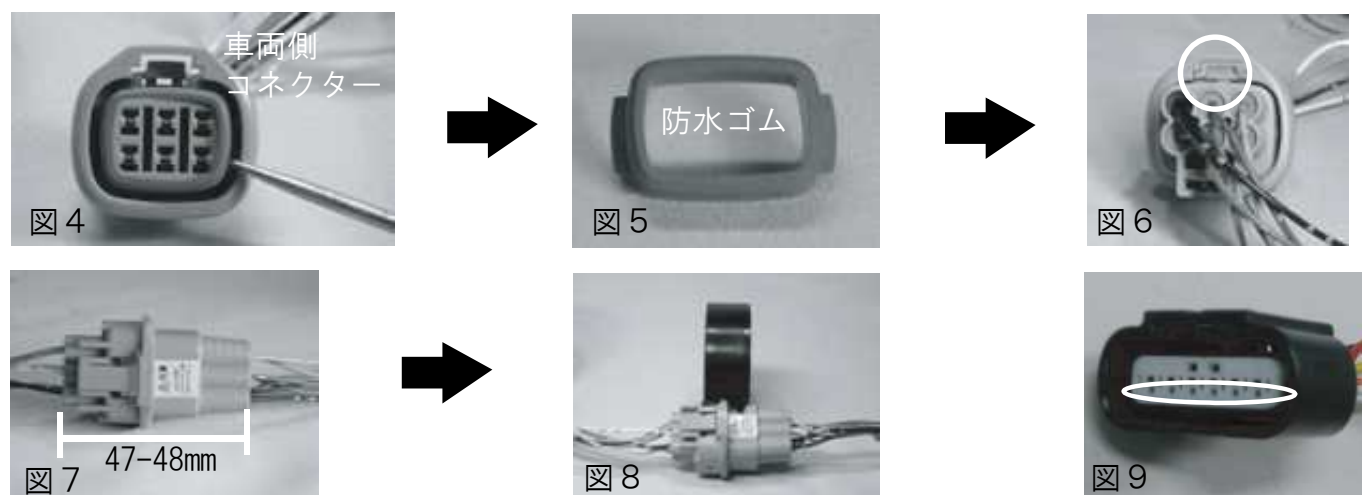
図４

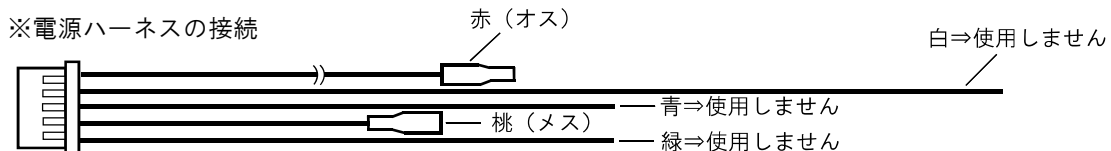
図５

図６

図７

図８

図９

## （4）本体ユニット、コントローラーの装着

【接続図】

赤（オス）：「常時+１２Ｖ」もしくは「ＩＧＮ-ＯＮ+１２Ｖ」接続線
桃（メス）：リバースキャンセルハーネス接続線

## ※接続の前に！

＊電源ハーネスの赤は必ず接続してください。接続をしない、あるいは+１２Ｖ電源がきちんと確保されていない場合は
　コントローラーの電源が入らず本製品は機能致しません。
＊アクセルペダルと配線、本体ユニット等が接触する状態は大変危険です。細心の注意をはらってください。
＊エンジン停止後２０分以上経過してから作業を開始してください。
　エンジンチェックランプ点灯の原因となる場合があります。
＊+１２Ｖ電源を入力する場合は「常時+１２Ｖ」もしくは「ＩＧＮ-ＯＮ+１２Ｖ」となる場所に接続してください。
【常時+１２Ｖ】⇒ バッテリーターミナル（＋）、ヒューズＢＯＸ等
【ＩＧＮ-ＯＮ+１２Ｖ】⇒ キースイッチをＯＮにした時１２Ｖ以上になる配線（クランキング時も１２Ｖ以上かかること）
「ＡＣＣで+１２Ｖ」となる場所に接続した場合には、電源が一瞬カットになり不具合が発生する場合があります。
　電源の入力は必ず【常時+１２Ｖ】もしくは【ＩＧＮ-ＯＮ+１２Ｖ】に接続して下さい。
＊【常時+１２Ｖ】で接続の場合、エンジン停止時より数分間、表示が残る車両がありますが異常ではありません。
＊車両側への接続には付属のスプライスもしくはエレクトロタップ、ハンダ付け等にて確実におこなってください。
＊念のため使用しない本体ユニットのギボシ端子にテーピング等の絶縁処理を施してください。

①車種別専用ハーネスの２極と４極コネクターを本体ユニットへ確実に差し込んでください。
②コントローラーからの４極コネクターを本体ユニットに確実に差し込んでください。
③電源ハーネス（５極）を本体ユニットへ確実に差し込み、コネクターから出ている赤線を前述の＋１２Ｖ発生する配線へ
　接続してください。
　＊車内のヒューズ、リレー等にも+１２Ｖが取り出せる車両があります。
　＊BB3ハーネスでは、車種別専用ハーネスより【常時＋１２Ｖ】を取り出すことができます。（上図参照）
④電源ハーネス（５極）より出ている桃線はリバースキャンセルハーネスの配線です。
　リバースキャンセルハーネスは車両バック時に一時的に電子制御スロットルの制御を止めてノーマル復帰させる機能です。
　接続をしなくてもその他の機能には影響ございませんので、リバースキャンセルハーネスは必要に応じて接続して下さい。
　結線はバックランプスイッチ、もしくはバックギヤに入れた時に＋１２Ｖ発生する配線へ接続してください。
　車種によりオーディオ・ナビ裏にバックギヤ信号線のサービスコネクターがある場合があります。
　もし接続箇所が不明な場合はバックランプ付近の＋１２Ｖ発生する配線へ接続してください。
　リバースキャンセルハーネスは接続をしなくても通常の作動には影響ございません。
⑤運転の操作の妨げにならぬよう、本体ユニットを固定し配線をまとめてください。
　＊本体ユニット及びコントローラーは水、熱のかからない場所に固定してください。

　接続が済みましたら次ページの「初期設定」へお進み下さい。

## （５）初期設定／初めて車両に装着、もしくは装着車両を変更する場合

作業終了後、下記要領にて本製品を使用する前に必ず初期設定をおこなってください。

注意！　初期設定を行わない状態では本製品は正常に機能しません。
必ず正確な操作にて初期設定をおこなってください。

①ＰＯＷＥＲボタンを押し続けた状態でＩＧキーをＯＮにしてください。（５秒間以上ＰＯＷＥＲボタンを保持）
＊デモンストレーション後、今までのデータがリセットされ【ＳＥＴ】表示となります。
スクランブルスイッチを接続している場合は同時にボタン部分が点滅します。
この状態になったらＰＯＷＥＲボタンを押すのを止め、②の作業をおこなってください。

・モニター表示 ⇒【ＳＥＴ】

②表示が【ＳＥＴ】になってから１５秒以内にアクセル操作で、全閉と全開を２回以上繰り返してください。
＊この操作で、アクセル信号の０～１００％の電圧値が入力されます。
＊アクセルペダルを踏み損じた可能性のある場合は表示がエラー【ＥＲＲ】となります
この場合①、②の操作をやり直してください。
＊キックダウンスイッチ装備車は、踏み込んで止まったところから、もう一段奥まで確実に踏み込んでください。

・モニター表示 ⇒【ＥＲＲ】

③１５秒間の初期設定モードが正常に終わると、表示が【ＯＦＦ】になります。

・モニター表示 ⇒【ＯＦＦ】

④ＰＯＷＥＲボタンを押すと、表示が【ＳＡ１】になります。

・モニター表示 ⇒【ＳＡ１】

注意！　初期設定がきちんと認識されない場合はエラー音とともにエラー【ＥＲＲ】の表示になります。
この状態の場合は再度初期設定をおこなってください。

※動作確認

①ギヤがＰもしくはニュートラル状態であることを確認し、エンジンを始動させてください。
②本製品のＰＯＷＥＲスイッチをＯＦＦにしてください。
③エンジン回転を２５００～３０００ｒｐｍにて一定に保ってください。
④本製品のＰＯＷＥＲスイッチをＯＮにして【ＳＰ＃】（ハイブリッド用は【ＳＨ＃】）モードにしてください。
→この時にエンジン回転数が１００ｒｐｍ～以上　上昇、もしくはその時のアクセル開度がデジタル数字で表示されていれば本製品は正常に作動しています。
→エンジンストール等の異常が発生する場合は、配線～初期設定の作業を再度見直してください。

（６）モード説明

●通常モデル
今までのＢＬＩＴＺのノウハウを注ぎ込んだ、いわばブリッツ スロコンの最終形

## New Mode

### ECO AUTO MODE(2モード)

従来のオートモードをエコドライブ向けに調整した新モード。エコモードベースに、走行状態に合わせて比率が自動的に可変します。特性の異なる2つのモードから選択することができます。

### SPORTS AUTO MODE(5モード)

従来のオートモードをスポーツ走行向けに調整した新モード。スポーツモードをベースに、走行状況に合わせて比率が自動的に可変します。特性の異なる5つのモードから選択することができます。

### HIGH SPORTS MODE(3モード)

スポーツモードよりさらに素早いアクセルレスポンスを目指したレスポンス重視モード。純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。

### CUSTOM AUTO MODE(2モード)

走行状態に合わせて自動的に比率が変化する『オートモード』を、ドライバーの好みによってカスタマイズが可能になった新モード。オートモード内部の7段階の変化比率をお好みに設定していただくことで、自在なセッティングを実現します。カスタムオートモードは、2モードそれぞれカスタマイズが可能で状況に合わせた2モードをメモリーすることができます。

## Standard Mode

### ECO MODE(6モード)

純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。従来品の倍となる、6モードでエコドライブを実現。

### SPORTS MODE(5モード)

段付きのないスムーズな加速を目指した、ノーマル＋αのセッティングです。5モードのきめ細かいコントロールが可能。

## Option Mode

### SCRAMBLE MODE(オプション)

通常セットしたモードに関係なく、最大比率まで引き上げることが可能なオプション専用モード。スクランブルタイム（稼働時間）は、30秒～150秒まで30秒単位で任意設定することができます。作動中は、カウントダウンとともにスクランブルスイッチが点滅します。

（スクランブルスイッチは別売です）

## （６）モード説明

●ＨＹＢＲＩＤ ＣＡＲ専用モデル
一部の比率をＨＹＢＲＩＤ ＣＡＲ専用にアレンジ。ブリッツの考える本当のエコを体感できます。

### New Mode

#### ECO AUTO MODE（2モード）

従来のオートモードをエコドライブ向けに調整した新モード。エコモードベースに、走行状態に合わせて比率が自動的に可変します。特性の異なる2つのモードから選択することができます。

#### SPORTS AUTO MODE(5モード)

従来のオートモードをスポーツ走行向けに調整した新モード。スポーツモードをベースに、走行状況に合わせて比率が自動的に可変します。特性の異なる5つのモードから選択することができます。

#### HIGH SPORTS HYBRID MODE（3モード）

通常モデルのハイスポーツモードをベースにHYBRID CAR向けに調整したハイスポーツモード。純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。

#### CUSTOM AUTO MODE(2モード)

走行状態に合わせて自動的に比率が変化する『オートモード』を、ドライバーの好みによってカスタマイズが可能になった新モード。オートモード内部の7段階の変化比率をお好みに設定していただくことで、自在なセッティングを実現します。カスタムオートモードは、2モードそれぞれカスタマイズが可能で状況に合わせた2モードをメモリーすることができます。

### Standard Mode

#### ECO HYBRID MODE（6モード）

通常モデルよりさらに比率を落とし、よりエコランを実現するHYBRID CAR専用モード。従来品の倍となる、6モード。

#### SPORTS HYBRID MODE(5モード)

通常モデルのスポーツモードをベースにHYBRID CAR向けにアレンジしたスポーツモード段付きのないスムーズな加速を目指し、ノーマル＋αのセッティングを実現。

### Option Mode

#### SCRAMBLE MODE（オプション）

通常セットしたモードに関係なく、最大比率まで引き上げることが可能なオプション専用モード。スクランブルタイム（稼働時間）は、30秒～150秒まで30秒単位で任意設定することができます。作動中は、カウントダウンとともにスクランブルスイッチが点滅します。

（スクランブルスイッチは別売です）

## （６）モード説明

モードの切り替えは全てコントローラーのＵＰ・ＤＯＷＮボタンで行います。

### 「ＥＣＯ」モード　（全６モード）

＊純正よりも緩やかな出力曲線を描く、燃費重視のセッティングです。
全６モードでエコランを実現します。
【ＥＣ６】（ハイブリッド専用は【ＥＨ６】）がもっともエコな低比率となります。

### 「ＳＰＯＲＴＳ」モード　（全５モード）

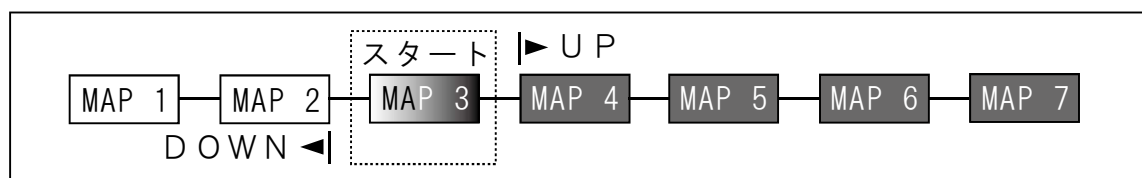
＊段つきのないスムーズな加速を目指した通常走行向きのノーマル+αのセッティングです。
５モードを用意し、きめ細かいコントロールが選択できます。
【ＳＰ５】（ハイブリッド専用は【ＳＨ５】）がもっとも高比率となります。

### 「ＨＩＧＨ ＳＰＯＲＴＳ」モード　（全３モード）

＊アクセルレスポンスの向上に特化した、もっとも過激なモードです。
純正のような緩慢な反応ではなく、入力に対してリニアな加速を実現します。
【ＨＳ３】（ハイブリッド専用は【ＨＨ３】）がもっとも過激な高比率となります。

### 「ＡＵＴＯ」モード　（全９モード）

＊走行状態により７段階の比率を、マイコン制御により自動的に選択します。
渋滞時から高速走行時まで、さまざまなシチュエーションにおいて常に最適なモードを、この
「ＴＨＲＯＴＴＬＥ ＣＯＮＴＲＯＬＬＥＲ ＦＵＬＬ ＡＵＴＯ ＰＬＵＳ」が自動判別し快適な制御を行います。
他のモードからＡＵＴＯモードに変更した場合（ＡＵＴＯモードの状態でエンジンをかけた場合も同様）は、
「ＭＡＰ３」からスタートとなります。

・オートモードイメージ

※ＡＵＴＯモード中はスロットル開度をマイコンで判別しているため、アクセル操作により常時段階が変化します。
比率ＵＰ方向ではアクセル開度が少ない時は遅く、アクセル開度が多い時は早く段階が変化します。
（ＤＯＷＮ方向では変化速度は一定です）
この時にコントローラーのスロットルオープンゲージが点滅しますので、段階が変化した時の目安になります。
・比率ＤＯＷＮ方向 ⇒ バーが右から左に流れる
・比率ＵＰ方向 ⇒ バーが左から右に流れる

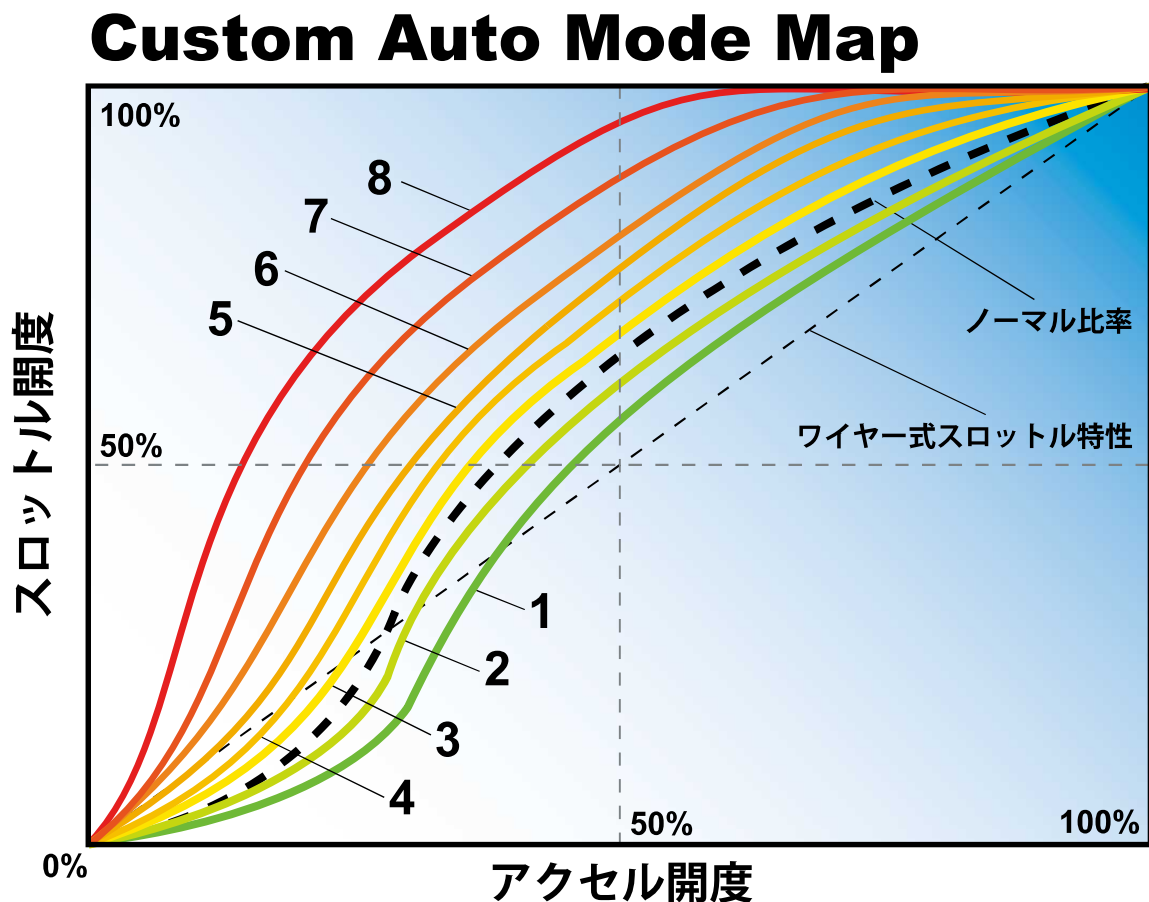
＊スロットルオープンゲージについて
スロットルコントローラー起動中には、つねに開度比率がスロットルオープンゲージ及びデジタル数値によりリニア表示されます。（表示はあくまで目安となります）
この表示はスロットルコントローラーで制御した後の数値が表示されますので、特にＡＵＴＯモードにおいての変化量の目安にしていただけます。

## （６）モード説明

**「ＡＵＴＯ」モード　（全９モード）**

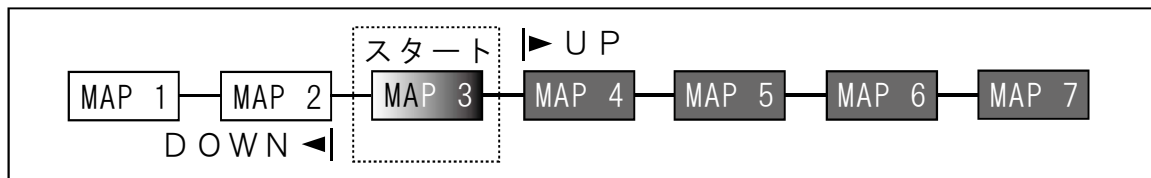
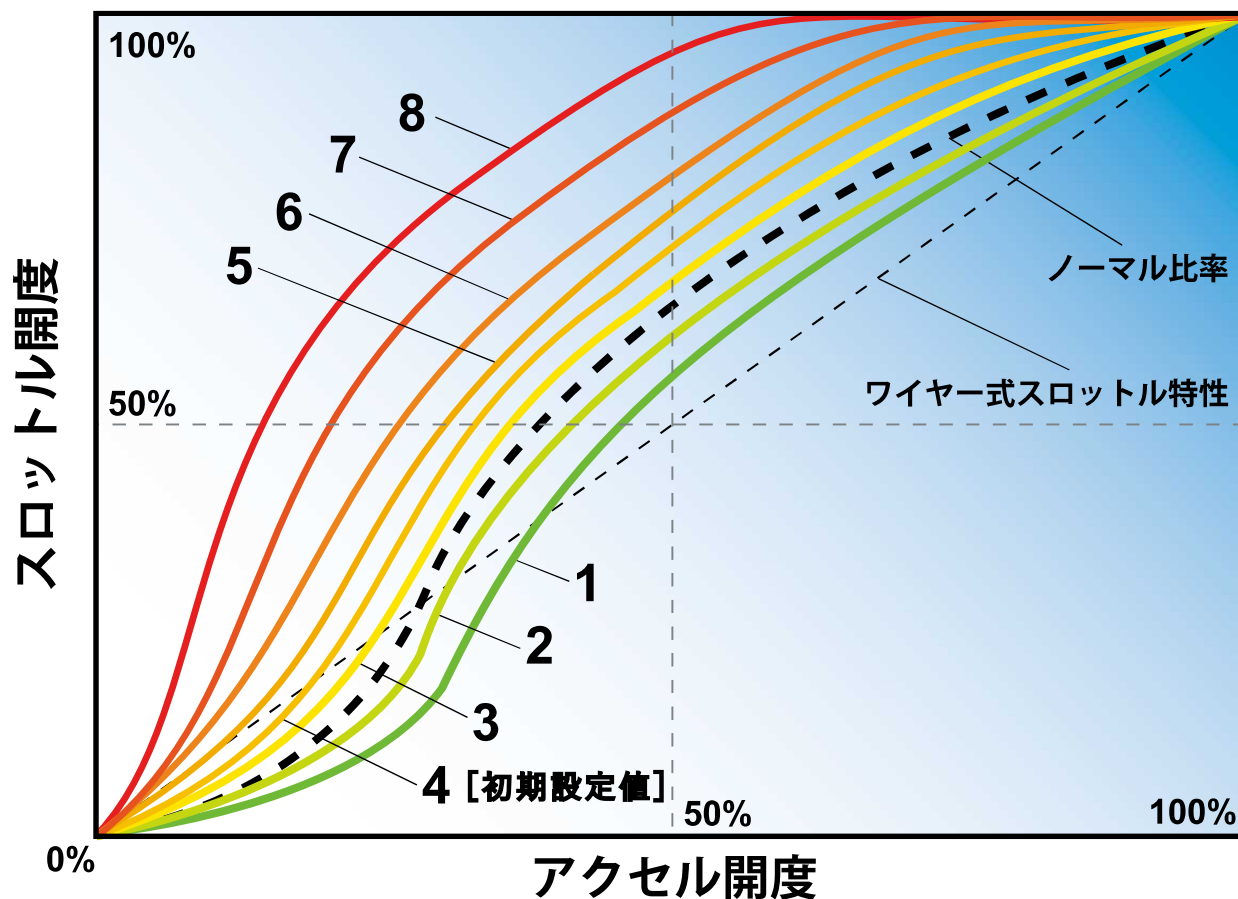
【ＥＡ１～２】エコオートモード
「ＭＡＰ７」が低比率。
加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に比率がダウンしていきます。
純正よりも緩やかな特性ですので車速が乗った状態や、あまりパワーを必要としない領域での無駄なアクセル操作を抑制することで燃費の向上も望めます。
比較的にパワーのある大排気量車にも最適です。

【ＳＡ１～５】スポーツオートモード
スポーツモードをベースに、走行状況に合わせて比率が自動的に変化します。
【ＳＡ１～３】においては「ＭＡＰ７」が高比率。
純正よりハイレスポンスな特性で、加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に比率がアップしていきます。
低速時の急激な挙動を抑え、いちいち切り替える必要もなく快適でスムーズなドライブが可能です。
【ＳＡ４～５】においては「ＭＡＰ１」が高比率。
純正よりハイレスポンスな特性で、加速するにつれてアクセルが一定でも徐々に比率がダウンしていきます。
小排気量車のスタート時等で快適なアシストを実現します。

【ＣＡ１～２】カスタムオートモード
走行状態に合わせて自動的に比率が変化する『オートモード』を、ドライバーの好みによってカスタマイズが可能になった新モード。
オートモード内部の7段階の変化比率をお好みに設定していただくことで、自在なセッティングを実現します。
カスタムオートモードは、2モードそれぞれカスタマイズが可能で状況に合わせた2モードをメモリーすることができます。
変化比率は下記８種類の比率からご自由にお選びいただけます。

## （7）各種設定

●カスタムオートモード設定

①【ＣＡ１】【ＣＡ２】表示状態にてＵＰ ＋ＤＯＷＮボタンを同時に３秒以上長押しします。
②メモリー１の設定画面となり画面上部にＭ１、モード表示が【１－４】の状態に変わります。
　左側の数字がＭＡＰ（１～７）、右側の数字が任意で入力できる変化比率（１～８）となります。
　ＭＡＰ（１～７）及び変化比率（１～８）は下記のグラフを参考にしてください。
③ＵＰ ＋ＤＯＷＮボタンにて変化比率の数字を選択しＰＯＷＥＲボタンにて確定します。
（初期設定の変化比率は全て４になっています）
④次に表示が【２－４】に変わるので、③同様に変化比率の数字を選択しＰＯＷＥＲボタンにて確定します。
　この操作を【７－＃】まで繰り返します。
⑤【７－＃】まで設定を終え、さらにＰＯＷＥＲボタンを押すとメモリー１の設定画面となり、画面上部のＭ１がＭ２に変わり、モード表示が【１－４】の状態に変わります。
　メモリー１同様にメモリーの設定を行ってください。
⑥上記設定終了後、ＰＯＷＥＲボタンを５秒以上長押しするとピー音と共に【ＣＡ１】の表示となり、カスタムオートモードの設定終了です。
　走行状況に応じてＣＡ１、ＣＡ２をＵＰ ＋ＤＯＷＮボタンにて選択してください。
⑦変化比率の設定を変更する場合は再度①から操作してください。

・ＭＡＰ（１～７）

・変化比率（１～８）

## （７）各種設定

●ＯＮ／ＯＦＦスタート設定

＊本製品出荷時はセーフティー機能の一環として、使用中にＩＧ-ＯＦＦにした場合、必ずノーマルモードになるように設定されています。例えばいずれかのモードで走行後、ＩＧ-ＯＦＦにした後に再度エンジンをかけた場合にはオープニングデモ後に【ＯＦＦ】表示となり、モードはノーマルモード（純正状態）となっています。
これを任意で常時お好みのモードで起動させることができます。

①キースイッチをＯＮにします。
②オープニングデモ後にＰＯＷＥＲボタンとＤＯＷＮボタンを同時に３秒以上、長押しします。
この際のモニター表示は約１秒間【Ｏｎ】となります。（ブザー音にて設定終了）
③再度②を行うとモニター表示は約１秒間【ＯＦＦ】となり、以降は操作を行うたびに設定が入れ替わります。
④設定が終わりましたらＰＯＷＥＲボタンを再度押していただくことで、もとのモードに復帰します。

※ボタンを同時に押した際の微妙なタイミングズレにより、起動中は【ＯＦＦ】モードに、【ＯＦＦ】モード中にはモード起動になってしまう場合がありますが、設定動作は正常に作動していますのでそのまま押し続けてください。
この場合、設定が終わりましたらＰＯＷＥＲボタンを再度押していただくことで、もとのモードに復帰します。
※初期設定を再度おこなった場合はこの設定も再度設定してください。
※ＯＮ／ＯＦＦ設定の変更をおこなった場合は必ずスタートモードの設定も設定してください。

ＯＮ/ＯＦＦスタート設定は本製品概要をご理解いただいていないご本人以外の方が使用することは非常に危険です。ご本人以外が運転する場合は必ずＯＦＦスタートに設定してください。

●スタートモード設定

＊本製品出荷時はキースイッチをＯＮ、最初に本機をＯＮにした時は【ＳＡ１】より開始しますが、本機をＯＮにした時のモードをお好みのモードに任意設定することが可能です。

①キースイッチをＯＮにします。
②オープニングデモ後にＰＯＷＥＲボタンとＵＰボタンを同時に３秒以上、長押しします。
この際のモニター表示は画面上部に【ＳＥＴ】が追加され、モード表示となります。（ブザー音はしません）
また、ボタンから指を離す際にはＰＯＷＥＲボタン→ＵＰボタンの順に離すようにしてください。
③ＵＰ 、ＤＯＷＮボタンにてスタートモードを選択しＰＯＷＥＲボタンにて確定します。
この際のモニター表示は約２秒間【ＳＥＴ】となります。（ブザー音にて設定終了）
※ボタンを同時に押した際の微妙なタイミングズレにより、起動中は【ＯＦＦ】モードに、【ＯＦＦ】モード中にはモード起動になってしまう場合がありますが、設定動作は正常に作動していますのでそのまま押し続けてください。
この場合、設定が終わりましたらＰＯＷＥＲボタンを再度押していただくことで、もとのモードに復帰します。
※初期設定を再度おこなった場合はこの設定も再度設定してください。

●ＬＣＤバックライト輝度設定

＊本機ＯＦＦ状態にてＵＰ 、ＤＯＷＮボタンを押すことにより、ＬＣＤバックライトの明るさの調整を１０段階にておこなえます。（初期設定では７段目になっています）

①キースイッチをＯＮにします。
②オープニングデモ後にモードをＯＦＦにします。
③ＵＰ 、ＤＯＷＮボタンにてＬＣＤ輝度を調整してください。
この際のモニター表示はピッというブザー音と共に【Ｌｃｄ】となり、バーグラフにて現在の輝度を表示します。
④約１秒間の【Ｌｃｄ】表示後に【ＯＦＦ】画面に戻り設定終了となります。
※初期設定を再度おこなった場合はこの設定も再度設定してください。

## （８）その他の機能

●アクセル開度表示

＊アクセル開度の４％～１００％までをの状態を、スロットルオープンゲージと数値で表示します。（２％単位）
表示する数値は出力側の数値になりますので、各モードごとの比率変化量の目安にすることができます。
アクセル開度の０％～３％まではモード表示となります。

●アクセル開度ピーク表示

＊ＩＧ-ＯＮからＩＧ-ＯＦＦまでのアクセル開度のピーク値を記憶し、そのピーク値を表示させることができます。
本機ＯＦＦ状態でＵＰ、ＤＯＷＮボタンを同時に押すと現在のピーク値を表示します。
ＰＯＷＥＲボタン押すと元のＯＦＦ状態に戻ります。
※車両によってはアクセルを開けていなくても５％くらいまでの数値を表示する場合がありますが、これは車両側のスロットル電圧がＩＧ-ＯＮの際に瞬間的に少しだけ上がることによるもので異常ではありません。

●エコワーニング表示

＊【ＥＣ（ＥＨ）１～６】、【ＥＡ１～２】の時にアクセル開度が約３０％を超えた場合は画面上部の【ＷＲ】が点滅します。
エコ運転の際の目安としてご活用ください。

●スクランブルモード（スクランブルスイッチ別売）

＊通常セットしたモードに関係なく、ボタンを押した瞬間に変化比率を最大比率まで引き上げることを可能としたオプション専用モード。
スクランブルタイム（稼働時間）は、３０秒～１５０秒まで３０秒単位で任意設定することができます。
作動中は、カウントダウン表示と共にスクランブルスイッチが点滅します。
本製品出荷時の設定は３０秒になっています。

①別売のスクランブルスイッチをユニットに接続する。
②７ページの初期設定を行ってください。（すでに初期設定を行ってある場合は不要です）
③【ＯＦＦ】モードであることを確認してください。（本機がＯＮの状態では設定できません）
④スクランブルスイッチを５秒以上長押ししてください。
⑤ピー音と共にモード表示が【３０】、画面上部の【ＳＥＴ】表示に変わるので、ＵＰ、ＤＯＷＮボタンで任意の秒数（３０・６０・９０・１２０・１５０）に変更します。
⑥スクランブルスイッチを５秒以上長押しするとピー音と共にモード表示が【ＯＦＦ】になり、設定を終了します。
ＰＯＷＥＲボタン押すと元の状態に戻ります。

◆ Code No：14878　スクランブルスイッチ　￥2,625（税込み）

●リバースキャンセルモード

＊従来では別売としていたリバースキャンセルハーネスを同梱致しました。
リバースキャンセルモードは車両バック時に一時的に本機の制御を止めてノーマル復帰させる機能です。
（リバースキャンセルハーネスは接続をしなくても通常の作動には影響ございません。）
リバースキャンセルハーネスを接続すると、ギヤをバックに入れた際に画面左側に【Ｒ】表示になりＯＦＦ制御になります。

・モニター表示 ⇒【Ｒ】

※【Ｒ】表示の左にある【Ｓ】表示は他商品との拡張機能の関連による表示で、常時点灯しています。
異常ではございません。

## （９）トラブルシューティング

| ⚠警告 | フェールセーフモードに入りエンジンが吹け上がらない状態になった場合は非常に危険です。<br>速やかに車両を安全な場所に停車しエンジンを停止し５分ほど経ってから再度エンジンを始動させてください。 |
|---|---|

【エンジンチェックランプ点灯、エンジン不調】
※コネクターの接触不良、配線間違い、コネクター挿入方向の間違いなどご確認ください。
※＋１２ＶをＡＣＣから取っている、もしくは電圧降下で+１２Ｖかかっていない。→取り出し方法と場所を変更してください。
※エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のコネクターがある場合がございます。
エンジンルーム内のコネクターに接続した場合、正常に動作しません。車内のアクセルペダル付近のコネクターへ接続してください。
（ＴＲＣ００１Ｓ－ＢＦ２はエンジンルーム接続ですのでこの限りではありません。）
※装着車両を変更した時は必ずリセット設定、初期設定をおこなってください。
※従来品の車両ハーネスは使用せず、必ず同梱されている車両ハーネスを使用して装着してください。

【作業中のミスなどでエンジンチェックランプ点灯】
※キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業をおこなっている可能性があります。１５分以上待って作業してください。
※コネクターを逆挿ししている可能性がありますので再度ご確認ください。
※ディーラー等専用の故障診断機のある工場にてチェックランプ及びダイアグの履歴を消去してください。
※スズキ車の一部などはバッテリー端子を３０秒ほど外す事でチェックランプを消す事ができる車両もあります。
※正常な状態で走行し、エンジンの停止を数回行うと自動的に消灯する場合もありますが、ダイアグの履歴は残っています。

【アイドリング不調】
※初期設定不良の可能性があります。初期設定を再度おこなってください。
※取り付け作業時にバッテリーを外した場合はアイドリング学習が必要な場合があります。
販売店もしくはカーディーラーへご相談願います。

【エンジンＯＦＦでもしばらく表示が消えない】
※エンジンを止めても暫くはコントローラーの表示が消えない場合がありますが、センサーへ微量な電流が流れているため
で異常ではありません。
２０分以上表示が消灯しない場合はお手数ですが販売店もしくは弊社サポートセンターまでご連絡ください。
モニター表示はモードを示す表示、もしくは【ＯＦＦ】として表示が残ります。
※一部車種ではドアロック解除などのアクションで、表示が点灯する場合がありますが異常ではありません。

## （１０）走行する前に再度お読みください。

※ＡＴ車の場合には高速走行中にキックダウンしにくい、もしくはシフトポイントが変わる場合があります。
これはアクセルを踏んでない状況でも擬似的に踏んでいる状態をつくっているためです。
故障ではありませんのでご了承ください。
※ターボチャージャーなどの過給機付き車両の場合、ブースト特性が変わります。
特にブーストアップやタービンの変更などを行っている場合は、ブーストの再調整が必要になる場合があります。

■製品についてのお問い合わせ


| 連絡先 | 株式会社 ブリッツ　サポートセンター |
|---|---|
| 所在地 | 〒202-0023 東京都西東京市新町４-７-６ |
| ＴＥＬ | ０４２２－６０－２２７７ |
| ＦＡＸ | ０４２２－６０－００６６ |
| ＵＲＬ | http://www.blitz.co.jp |


■発売元


| 発売元 | 株式会社 ブリッツ |
|---|---|
| 所在地 | 〒202-0023 東京都西東京市新町４-７-６ |
| 取扱説明書番号 | １４７６５０４ |
| 初版作製年月日 | ２０１２年１月２４日 |